

支部中体連総合大会激励会 校長あいさつ

平成29年5月29日（月）

支部中体連総合大会が明後日に迫りました。

昔から、「練習で泣いて、試合で笑え」、「試合では、練習してきたことしか出せない」と言われます。ここまで来たら、「自分のプレー、自分たちのプレー」を大会で存分に発揮することを心がけてください。

大会に参加するからには、「勝ちたい」と思うのは当然です。しかし、「勝ちたい」と思うだけなら、誰にでもできます。大切なのは、自分が「勝つための努力」を一生懸命にしてきたかということです。

実際の勝負には、時の運もあります。対戦相手も必死です。したがって、部活動においては、「勝つための努力」をしたと天に向かって胸を張って言えるのであれば、それでいいのだと私は思います。相手に勝つことよりも、「自分の弱さに打ち克つこと」の方が、100倍も大切だと思っています。勝ち負けは、「勝つための努力」を一生懸命にした後に付いてくる結果に過ぎません。部活動では、結果よりも、そこに至るプロセスはどうだったのかを問うことに価値があるのです。

最後に、選手の皆さん、「勝ちたい」と思うことよりも、「負けない」という気持ちの方を強く持って、戦ってきてください。都路中生としてのプライド、「都中魂」を胸に、最後の最後まで気を抜かず、「本気」と「根気」と「負けん気」で、戦い抜いてきてください。

健闘を祈ります。